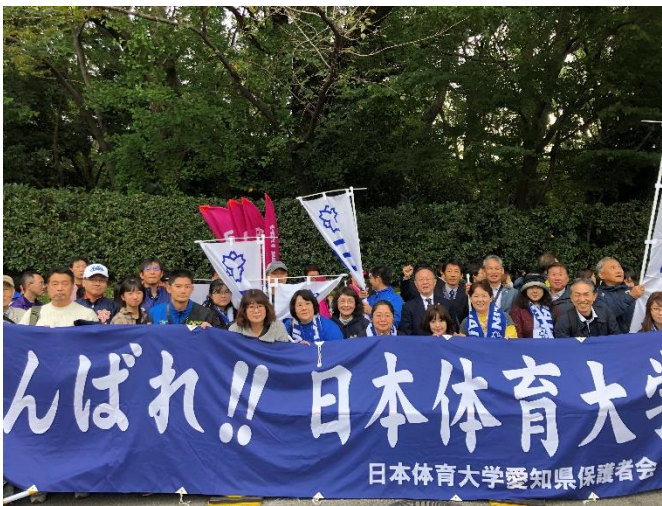




愛知県保護者会たより

第51回全日本大学駅伝対校選手権大会

文責 2年副会長 箕浦 安信



この大会に出場するのも難しくなっています。現に中京大、大東文化大、日大、中央大など日体大と競い合ってきた他大学も出場出来なくなっている昨今ですが、日体大は踏みとどまっています。それでは、日体大の活躍を祈念し応援サポートをしていきたいと思ひます。

11月3日に秩父宮賜杯全日本大学駅伝対校選手権大会が開催されました。この大会は出雲駅伝・箱根駅伝とともに学生三大駅伝と呼ばれています。熱田神宮をスタートしゴールの伊勢神宮を目指して8区間(106.8km)27チームが、母校のタスキを繋げて各校競い合います。今年で51回を数える歴史の古い大会ですが、日体大に声援を送るオールドファンも多い大会です。実は第1回大会から日体大が3連覇しており、第20回大会以降優勝からは遠ざかっていましたが、優勝回数は、実に11回と強さを誇ってきました。最近では新興勢力が力を付けてきて、



8時05分の号砲を合図に各選手スタートしました。スタート前の7時から8時までは本校の応援団、チアリーダーが休むことなく声援を送り続けました。保護者会・ファンクラブ愛知の会・愛知県同窓会の皆様と一緒に力を合わせて応援しました。また第一中継地点付近では岐阜県保護者会の皆様、2区から8区までの各区間に於いては三重県保護者会の皆様、特にゴール地点では応援に最適な場所を確保する為に早朝より三重県保護者会の皆様にご尽力頂きました。東海三県保護者会の力を感じた時でもありました。



第115回
日本体育大学
愛知県保護者会たより

発行日 令和元年12月24日
発行所 日本体育大学
愛知県保護者会
責任者 会長 久保田 竜弥



結果は 14 位でシード権を獲得する事は出来ませんでしたでしたが、伊勢路を走っている選手の姿に我々も元気ももらいました。また全日本大学駅伝に出場することで、愛知・岐阜・三重の保護者会の繋がりが出来ていい出会いがありました。是非、来年も忘れ物(シード権)を取りに戻ってきて頂きたいと思いました。またここでの悔しさを箱根駅伝へ繋げて頂き、正月は笑顔で迎えてもらいたいと感じています。報告会では皆の笑顔が見られなく、重い空気でした。

強い日体大が戻ってくると信じて我々保護者会は

これからもバックアップしていきます。

最後に、ご多忙の中お越しいただいた大学関係者の皆様、同窓会の皆様、三重、愛知両県の保護者会及び役員の皆様、日体大ファンクラブ愛知の会の皆様、早朝よりご尽力いただきまして誠にありがとうございました。



来年の全日本大学駅伝も何卒応援のご協お願いいたします。